



空を想い、技術を極め、環境社会を創る。



第51期のご報告

IR ハンドブック

[平成27年4月1日～平成28年3月31日]

特集

低カリウムレタス取扱店1,000店舗達成!

株主の皆さまへ

質・量両面での企業価値向上へ向けた 事業戦略を推進しています。

AGP
グループ
企業理念

AGPグループは、技術力を極め、
環境社会に貢献します。

- 環境に優しく、安全で豊かな社会の実現に貢献します
- お客様に選ばれる技術・サービスを誠実に提供し企業価値を高めます
- 燃える挑戦心を持った社員とともに成長します

商号「エージーピー」

空港地上動力の英語訳であるAirport Ground Powerの頭文字を表したものです。

代表取締役社長

山口 栄一

2015年度の経営成績

—対前年増収増益・営業利益率改善—

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策の効果が下支えするなか、海外経済に弱さがみられるものの企業収益は改善しており、緩やかな回復基調が継続しました。航空業界においては、訪日旅客数の増加により、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは企業理念と「長期ビジョン2025」に基づいて、既存事業基盤の強化を図るとともに、低カリウム野菜の生産・販売事業、ビジネスジェット支援事業を新規事業として展開し、事業領域拡大を図ってまいりました。

動力事業では、航空需要が堅調に推移しているなかで電力供給機会が増加したこと、整備事業では、空港特殊機械整備工事の増

加や施設設備工事が増加したこと、付帯事業では、フードコート販売や新規事業が拡大したことにより、全セグメントで増収となりました。

この結果、当期の売上高は前期比9億11百万円(8.5%)増の115億82百万円となりました。営業費用は、新規事業や整備事業での原材料費の増加等により、前期比8億2百万円(8.1%)増の106億94百万円となりました。この結果、営業利益は前期比1億9百万円(14.0%)増の8億87百万円、経常利益は前期比41百万円(4.8%)増の9億2百万円となりました。これに特別損益9百万円の損失を計上し、税金等調整前当期純利益は前期比61百万円(7.3%)増の8億93百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比78百万円(16.8%)増の5億47百万円となりました。1株当たり期末配当につきましては、普通配当9円に記念配当1円を加え10円とさせていただきます。

2016年度の見通し

一さらなる増収増益・営業利益率改善に向けて

動力事業では、ボーイング787型機に合わせた対応を着実に進めること、大手航空会社、LCC各社に対しては、販売活動を強化し、供給率を向上させることによる増収を計画しております。整備事業では、設備老朽化に伴う改修工事や空港の設備運用時間拡大への適切な対応と、空港内外業務の拡大を図ることによる増収を計画しております。付帯事業では、サービス付高齢者住宅等の新規顧客開拓によるフードコート販売の増加、低カリウム野菜の生産・販売事業の市場拡大およびビジネスジェット支援事業のサービス拡大を図ることによる増収を計画しております。

これにより、売上高は126億円と前期比10億17百万円(8.8%)の増収、営業利益は10億円と前期比1億12百万円(12.6%)の増益となる見込みです。経常利益は、9億90百万円と前期比87百万

円(9.7%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12百万円増(2.2%)の5億60百万円の計画とし、さらなる収支改善に努めることとしております。

質・量両面での企業価値向上を目指して

当社グループは、「AGPグループ企業理念」のもと、経営環境の変化に柔軟に対応し、当社成長のビジネスチャンスをつめることを目的に、前期より「長期ビジョン2025」およびその実行計画「2015-2019年度中期経営計画」に取り組んでおります。既存事業において事業基盤強化を推し進めることで営業利益率の向上を図るとともに、当社グループの技術を活かせる成長領域へ進出し、質・量両面での企業価値向上を図ってまいりたい所存です。株主の皆様には、今後とも格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業戦略の骨子

既存事業の基盤強化と成長事業領域への進出による質・量両面での企業価値向上

成長戦略の推進

収益力の拡大

売上高／営業利益率

- 技術力・営業力強化、お客様の信頼獲得等による売上拡大
- コスト削減活動・生産性向上活動の推進による利益率改善
- 新規業務領域の開拓と海外への事業展開
- 教育・訓練の充実

航空イベントリスク耐性強化

空港外売上比率／自己資本比率

- 空港外売上比率の向上
2015年3月期 5% ▶ 2020年3月期 20%
- 新規事業領域の積極的な開拓と事業の早期安定化
- 自己資本比率50%以上の堅持

環境社会への貢献

CO₂排出量

- エコエアポートへの貢献
▶ GPU使用率向上によるCO₂排出量削減
▶ 空港会社との連携強化
- 環境への取り組み活動強化

Special Feature

特 集

美味しい

苦味成分を取り除き、
マイルドな食味と
パリパリ感が美味

安全

農薬不使用栽培で
お子さまや高齢の方
にも安全

安心

腎臓疾患など、
食事制限のある方
でも安心

低カリウムレタス取扱店

1,000店舗達成!

通信販売開始

 によりお買い求めやすくなりました

～「低カリウムレタス」の特長～



シャキシャキ
おいしい!



食事制限の
ある方でも
安心!



鮮度が
長持ち!

当社グループのドクターベジタブルジャパン株式会社が2015年3月より販売している「低カリウムレタス」が、美味しい“プレミアムレタス”として多くのお客様にご愛顧いただいております。取扱店が1,000店舗を超えました。またかねてからのご要望にお応えし、2015年12月より通信販売も開始しました。株主の皆様も、是非お試しくださいと存じます。



- 低カリウムレタス通販ショップ

<http://www.drvegetable.jp/shop/>

- 低カリウムレタスを初めとする“ドクターベジタブル”を購入できるお店の一覧

<http://www.drvegetable.jp/support/shop.html>

空港内事業者向けEV充電サービスを大幅に拡充しました

このたび、羽田空港内の事業者向けサービスとして、EV（電気自動車）充電設備を20基設置しました。当社は地上設備から航空機への電力供給を主力事業としており、既存設備の活用等により充電設備を比較的容易かつ効率的に設置できる点に着目したものです。究極のエコカーとして実用化しているEVですが、空港内での普及は未だ十分ではありません。充電インフラの整備を進めることでEVの普及を後押しし、空港内におけるCO₂削減を通じてさらなる環境貢献を図ってまいります。



2013年設置分と合わせ、EV用充電設備を22基展開
(羽田空港制限区域内)

環境配慮型経営が金融機関より高く評価されました

当社は本年2月、株式会社三井住友銀行が取り扱う「SMBC環境配慮評価融資」において高評価を獲得しました。これは、当社の環境ビジネス（GPUの利用促進や無農薬の植物工場事業等）、環境負荷の把握状況（CO₂排出量の10日毎モニタリング等）、環境マネジメントシステム（CO₂排出量削減における具体的な中長期目標設定と達成への取り組み）が高水準であると判断されたものです。

またこれに先立つ1月には、株式会社日本政策投資銀行より、当社が環境配慮型の空港運営に欠かせない事業を展開していることが高く評価され、「DBJ環境格付コミットメント融資枠（エコライン）」を設定いたしました。

当社はこれからも、高い技術力と環境社会への貢献により、空港インフラ機能を担う信頼される企業になれるように努めてまいります。

ひと目でわかるAGP ―事業別概況と今後の取組み―

セグメント別売上高(連結)

動力
事業

5,069百万円

44%

整備
事業

4,847百万円

42%



付帯
事業

1,664百万円

14%



動力事業 セグメント利益(連結) **805**百万円 (前期比+224百万円)

整備事業 セグメント利益(連結) **822**百万円 (前期比+101百万円)

付帯事業 セグメント損失(連結) **△72**百万円 (前期比△143百万円)

連結営業利益 **887**百万円 (前期比+109百万円)

動力事業

航空機が必要とする電力・冷暖房・圧搾空気の供給および、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理等を行っています。



GPU固定式：電力

整備事業

旅客搭乗橋、手荷物搬送設備、物流倉庫搬送設備等の空港内外の特殊設備の整備・保守管理や空港内外の建物・諸施設等の保守・維持管理を行っています。



手荷物搬送設備

付帯事業

フードカート販売や空港内外セキュリティ機器の保守管理、GSE (Ground Support Equipment) 関連事業のほか、新規事業として、低カリウム野菜等の生産・販売、ビジネスジェット支援事業を行っています。



EH加熱カート



低カリウムレタス

○ 2016年3月期概況

売上高 **50億69百万円** 2.2%増 

ボーイング787型機に合わせた設備の増強を着実に実施したこと、電力および冷暖房の供給機会が増加したこと等により増収


セグメント利益 **8億5百万円** 38.7%増 

原油価格下落による原材料費の減少や減価償却費の減少等により増益


○ 対処すべき課題

- 空港機能強化に伴う設備投資を積極的に行い、空港インフラ設備の充実を図ります。
- 当社動力設備の使用率向上に向けて、お客様の立場にたった営業活動を展開します。
- 国土交通省の提唱するエコ・エアポート施策にも全社を挙げて積極的に参画し、関係先との連携強化と航空燃料の消費削減によるCO₂排出抑制を通して、環境社会へ貢献します。

○ 2016年3月期概況

売上高 **48億47百万円** 8.2%増 

空港特殊機械整備工事の増加および施設設備工事の増加等により増収


セグメント利益 **8億22百万円** 14.1%増 

売上の増加により原材料費が増加したものの増益


○ 対処すべき課題

- 全国カバーのネットワーク、24時間運営体制等、当社の強みをアピールした提案型、総合サービス提供型へのビジネスモデル転換を推進します。
- 異業種パートナーとの協業により、国内地方空港の運営主体、アジア地域における空港の新設・拡張計画に対する技術支援および空港外業務への進出を目指します。

○ 2016年3月期概況

売上高 **16億64百万円** 35.3%増 

フードカートの販売増加、セキュリティ業務の増加、低カリウムレタスの取扱販売店舗の拡大およびビジネスジェットに特化したクリーニングサービスの開始など新規事業の増加により増収

セグメント損失 **△72百万円** 

前期より開始した低カリウム野菜の生産・販売事業が営業損失となっていることにより減益

○ 対処すべき課題

フードカート販売

- リピート需要の確実な取込みを図る一方、今後増加が見込まれるサービス付高齢者住宅等の新規市場開拓と製品の認知度向上、低カリウム野菜の生産・販売事業とのシナジー効果による事業領域の拡大を進めます。

セキュリティ機器の保守管理

- 空港の安全を守るために培われた技術を活かし、メーカーや代理店との連携を強化し、新型セキュリティ機器の導入や更新への対応を着実にを行い、空港内外の市場開拓を進めます。

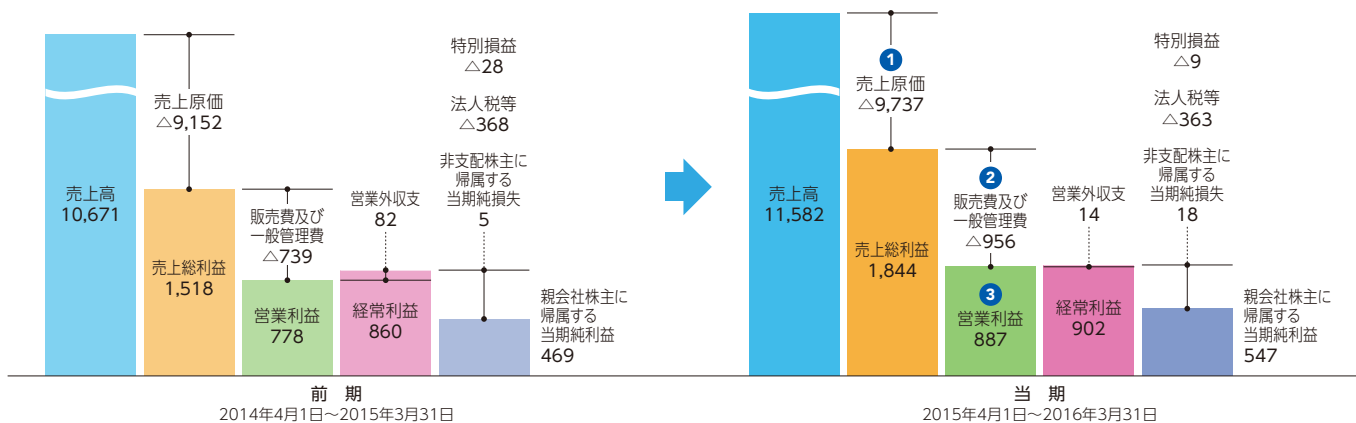
新規事業
(低カリウム野菜等の
生産・販売事業、
ビジネスジェット
支援事業)

- 低カリウム野菜の生産・販売事業では、販路拡大に加え新商品の市場投入を図り、経営の早期安定化と効率的な運営体制の構築を図るとともに、植物工場ビジネスに関連したコンサルタント業務や工場内設備の保守管理等の業務領域拡大に努めます。
- 成田空港でのビジネスジェット支援事業につきましては、提供サービス領域の拡大に努めます。

連結財務ハイライト

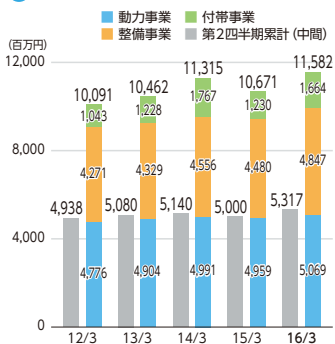
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

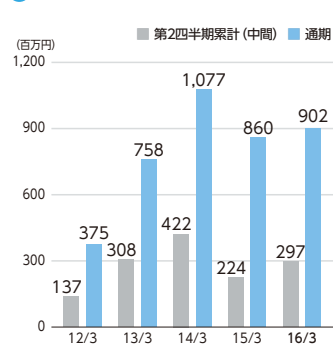


- ① 売上原価率は、前期より1.7ポイント減少し84.1%となりました。
- ② 販売費及び一般管理費率は、前期より1.4ポイント上昇し8.3%となりました。
- ③ これらの結果、営業利益率は、前期比0.4ポイント上昇し7.7%になりました。

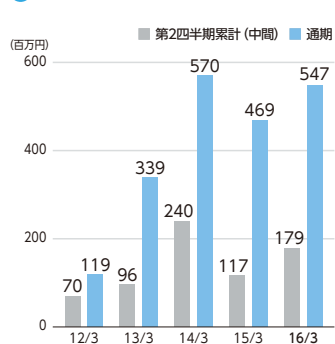
売上高



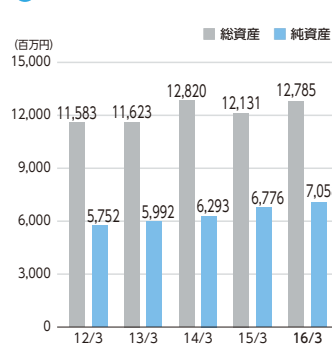
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産



詳細な財務諸表等をご覧になりたい方は、当社ホームページ「IRライブラリー」の決算短信をご参照ください。

🔍 エージーピー

検索

→ トップ画面

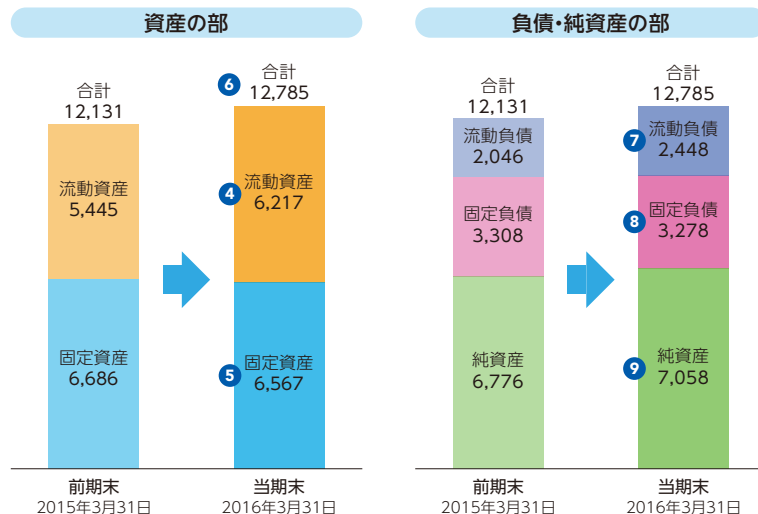
→ 投資家の皆さまへ

→ 財務レポート

→ 決算短信

連結貸借対照表の概要

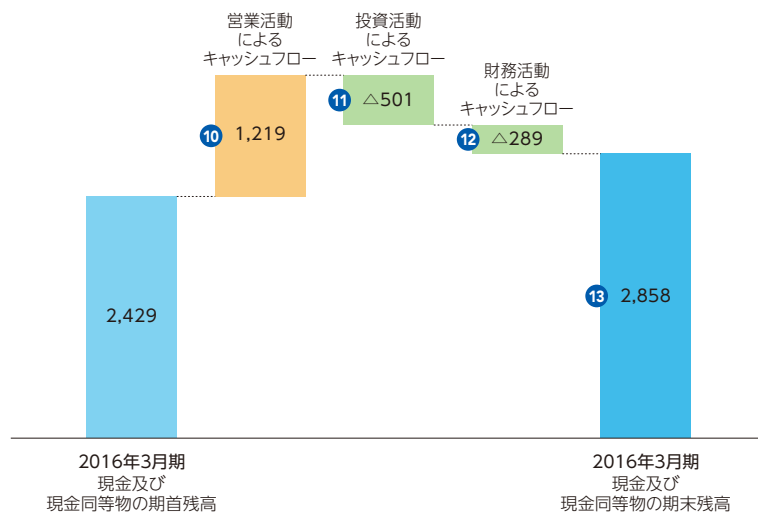
(単位:百万円)



- ④ 流動資産は、現金及び預金、受取手形及び営業未収入金の増加等により772百万円増加しました。
- ⑤ 固定資産は、退職給付に係る資産の減少等により118百万円減少しました。
- ⑥ これらの結果、総資産は653百万円増加しました。
- ⑦ 流動負債は、設備投資に伴う未払金等の増加等により402百万円増加しました。
- ⑧ 固定負債は、長期借入金の減少等により29百万円減少しました。
- ⑨ 純資産は、利益剰余金の増加等により281百万円増加しました。

連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)



- ⑩ 税金等調整前当期純利益の増加や法人税等の支払額の減少、仕入債務の増加等があったものの、減価償却費の減少や売上債権の増加等により、営業活動の結果得られた資金は前期比46百万円(3.6%)減少しました。
- ⑪ 有形固定資産の取得による支出が減少したことなどから、投資活動の結果使用した資金は前期比8億83百万円(63.8%)減少しました。
- ⑫ 財務活動により支出した資金は、長期借入金が増加したことなどから、前期比1億50百万円(34.1%)減少しました。
- ⑬ これらの結果、現金及び現金同等物は、428百万円増加しました。

株式の状況 (2016年3月31日現在)

株式の状況

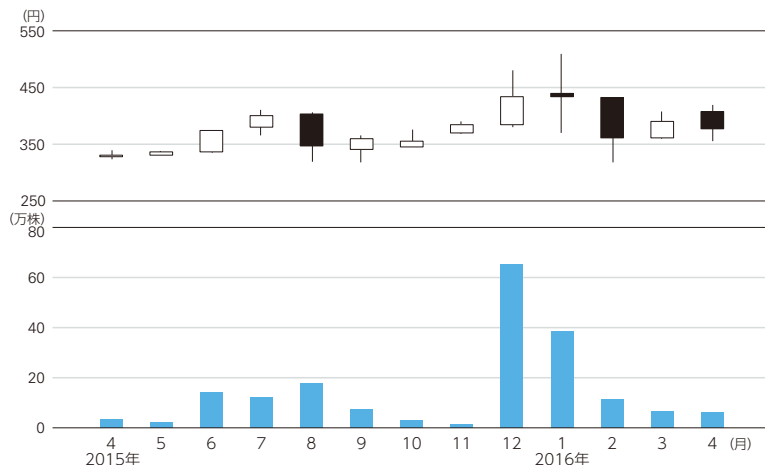
発行可能株式総数	52,000,000 株
発行済株式総数	13,950,000 株
株主数	867 名
単元株式数	100 株

大株主

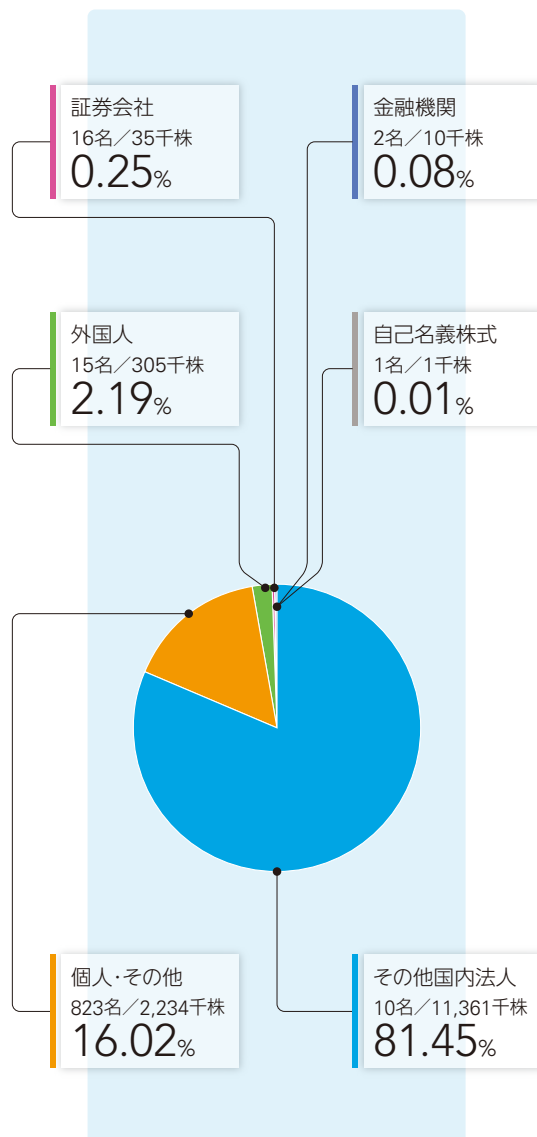
株主名	持株数	持株比率※
日本航空株式会社	4,651,000 株	33.34 %
三菱商事株式会社	3,740,000 株	26.81 %
ANAホールディングス株式会社	2,793,000 株	20.02 %
エージーピー社員持株会	415,600 株	2.97 %
SCBHK AC DBS VICKERS (HK) LIMITED - CLIENT A/C	243,800 株	1.74 %
城 暎男	100,000 株	0.71 %
栗原工業株式会社	86,000 株	0.61 %

※ 持株比率については、自己株式(1,950株)を控除して算出しております。

株価および株式売買高の推移(月足)



株式の分布状況



会社概要

商号	株式会社エージーピー AGP CORPORATION
本社	〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707 E-mail info@agpgroup.co.jp
最寄駅	東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分
設立	1965年12月16日/ 日本空港動力株式会社設立 2000年9月1日/ 株式会社エージーピーに商号変更
資本金	20億3,875万円
社員数	622名(連結) / 165名(個別) (2016年3月31日現在)
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	山口 栄一
専務取締役	早川 正英
常務取締役	丸山 均
常務取締役	村尾 学
取締役	畑山 博康
取締役	門谷 良己
社外取締役	佐々木かをり*
常勤監査役	小澤 秀之
社外監査役	長谷川 正人
社外監査役	浅木 純*
社外監査役	米谷 宏行

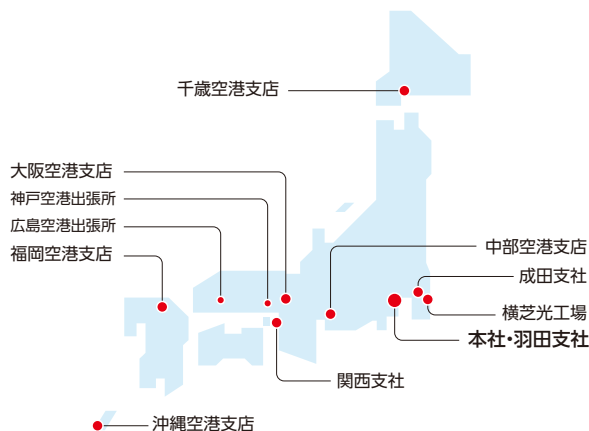
*東京証券取引所の定めに基づく独立役員

エージーピーグループ(連結子会社)

株式会社エージーピー沖縄	株式会社エージーピー開発
株式会社エージーピー関西	株式会社エージーピー北海道
株式会社エージーピー九州	株式会社エージーピー中部
ドクターベジタブルジャパン株式会社	

ネットワーク

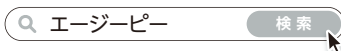
本社	- 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707
成田支社	- 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1 (日本航空成田第一ハンガー内) TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779
羽田支社	- 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号 TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191
関西支社	- 大阪府泉南市泉州空港南1番地 (日本航空輸出貨物ターミナル) TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107
千歳空港支店	- 北海道千歳市美々(新千歳空港内) TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213
中部空港支店	- 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (中部国際空港内) TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165
大阪空港支店	- 大阪府豊中市蛸池西町三丁目555番地 (大阪国際空港内) TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490
神戸空港出張所	- 兵庫県神戸市中央区神戸空港1番 TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490
福岡空港支店	- 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地 (福岡空港内) TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974
広島空港出張所	- 広島県三原市本郷町善入寺64番31(広島空港内) TEL.0848-60-8311
沖縄空港支店	- 沖縄県那覇市鏡水150番地(那覇空港内) TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229



○ ホームページをリニューアル

<http://www.agpgroup.co.jp/>

昨年の新タグライン、ブランドロゴデザインの制定にともないリニューアルを進めてきた当社の新しいホームページがこのたびオープンいたしました。今後も当社の事業内容をよりわかりやすくご理解いただけるよう、さまざまな情報の拡充を図ってまいります。



○ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	毎年3月31日 そのほか臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行本店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本店でお支払いいたします。

ご案内

- 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要がございます。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

※本ご案内は平成28年3月時点の情報をもとに作成しております。

株式会社 エージーピー

〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/> E-mail: info@agpgroup.co.jp

